



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2018th

平成 30 年 8 月 27 日

9 月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

《学校教育目標》 手をつなぎ 進んで学ぼう 滝小の子



〒 235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344,0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/> **滝頭小** **検索**

Mail: y3takiga@edu.city.yokohama.jp カラー高解像度版は学校 HP に掲載中 Every day



絆いっぱい 笑顔いっぱい 大好き滝小

Everlasting Bonds , Shining Smiles , We ♡ TKG

印象的だった平成最後の夏

校長 鶴飼 数夫

記録的な猛暑に見舞われた夏休みが明け、元気な子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、前期も終盤を迎え、そして今年度の90周年の取り組みもいよいよ本格化してきます。子どもたちと一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思います。

今年の夏は、よく「平成最後の夏」と表現されています。来年の5月に今上天皇陛下が退位され、次の夏休みは新元号となることと決定しているからです。そのように特別なものとして位置づけられると、出来事の全てが何だかとても印象的に感じられるようになるので不思議です。確かに、これまでになく暑い夏でしたし、たび重なる豪雨で各地が大きな災害にも見舞われました。甲子園の高校野球も100回の記念大会で、数多くのドラマや記録、エピソードが生まれました。また、3日間行方不明になっていた2才の男の子を奇跡的に救出したスーパーボランティアの方の行動力・生き方に心を打たれました。他にも印象的な出来事がたくさん起こったようですね。

私にとってこの夏で印象に残ったのは、東北を旅行し、青森県の田舎館村というところの「田んぼアート」に出合ったことです。津軽平野のど真ん中に広がる田園風景の中に、忽然と精細な地上絵が表れます。右上の写真にある絵は、全て田んぼに植えられた稲穂で描かれているのが分かりますか。緑色と違う部分は後からの着色ではなく、全て稲の品種固有の色に基づいています。平成5年に3色の稲から始めたこのアートは、現在7色の品種を使っているそうです。図案も年々複雑さを増し、田植えの段階で、遠近法により描かれた原画に忠実に丁寧に植え分けているのです。それはそれは、見事な光景です。この紙面ではとても伝えきれないので、詳しくは、村のHPを見てください。

田舎館村公式ホームページ→ <http://www.vill.inakadate.lg.jp/docs/2013050200014/>

その第2会場で描かれている今年のテーマは、鉄腕アトム、ジャングル大帝、ブラックジャック、etc、手塚アニメのキャラクターたちでした。なぜこの図案が採用されたのかと思ってよく見てみると、今年は手塚治虫さんの生誕90周年の年だということです。調べてみると、手塚治虫さんは、1928（昭和3）年11月3日に生まれ、1989（平成元）年2月9日に亡くなっています。昭和の子どもたちの心を虜にした日本が世界に誇る漫画の神様は、平成の始まりとともにこの世を去り、平成最後の夏に、再びこうして姿を見せてくれたのです。ご存命ならば、この秋、滝小の90周年式典の頃には90才。何という偶然でしょうか。

その手塚治虫さんの作品に共通して流れている理念は、ご自身の少年期の戦争体験に根ざした、反戦、平和、人間愛、そして生命尊重の精神です。表面的な言葉ではなく、作品に流れるストーリーやテーマ性をキャラクターたちが語り、当時のマンガ大好き少年であった私たち世代の心に深く浸透していきました。

東北旅行から帰って迎えた8月15日。平成最後の終戦記念日に、やがて来る新しい時代の子もたちに何を伝えていけばいいのか、昭和の少年から平成を越えて大人になった自分に問いかけてみました。

